

2019年1月11日

報道資料

LEXUS ES に標準装着のパイオニア製サウンドシステムが トヨタ自動車より「CE 特別賞」を受賞

パイオニアは、2018年11月7日(水)に行われたLEXUS ESのプロジェクト表彰式において、トヨタ自動車株式会社よりCE※1 特別賞を受賞しました。

このたびの受賞は、LEXUS ES にふさわしい洗練された車室内リスニング空間の提供と、時代が求める軽量化を両立した「Premium Sound System」の開発が高く評価された事によるものです。本サウンドシステムは、当社が長年培ってきた車載音響技術と、ハイエンドオーディオブランドとして揺るぎない地位を築いているTAD※2の技術を応用して新たに開発したスピーカーユニットで構成されています。当社のサウンドシステムが同社に表彰されるのは、2017年の「LEXUS LC プロジェクト表彰 技術の部」に続いて3度目となります。

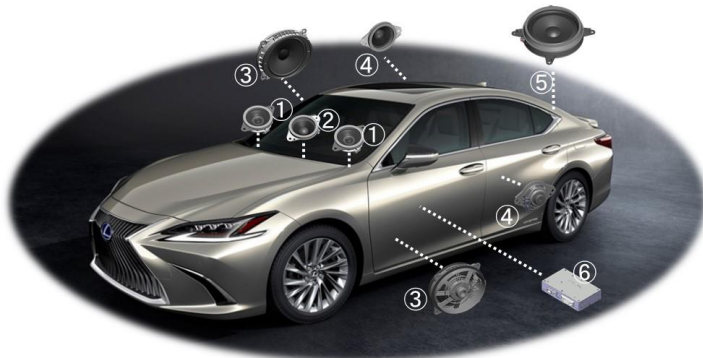
※1 CE:Chief Engineer

※2 パイオニアの100%子会社である株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ(TADL)が展開するブランド。その製品は1978年に米国で発売されて以来、プロフェッショナル用スピーカーユニットとして世界の著名な録音スタジオに採用されるなど、高い信頼と評価を得ています。

<http://tad-labs.com/jp/>

【「Premium Sound System」概要】

明確な音像定位と豊かに広がる音場を両立する、10スピーカー、8ch Class-D アンプシステム



①インパネサイド	9cm CST※	× 2
②インパネセンター	9cm Midrange	× 1
③フロントドア	18cm Woofer	× 2
④リアドア	9cm Midrange	× 2
⑤アッパーバック	25cm Sub Woofer	× 1
⑥8ch Class-D アンプ		× 1

※CST:Coherent Source Transducer の略。
1つの筐体に2つのスピーカー(ミッドレンジ+トゥイーター)を内蔵。TADで培った技術に基づき、LEXUS ES向けに新開発。



【LEXUS ES — CE 特別賞】